

# 令和元年度 学校自己・関係者評価システムシート（私立栄東中学校）

目指す学校像	建学の精神「人間是宝」、校訓「今日学べ」のもと、豊かな人間形成を図り、社会に寄与する人間の育成を積極的に推進する。また、生徒一人ひとりの充実した学校生活と進路希望実現を目指し、生徒、保護者の期待に応える進路指導の在り方を実践する。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平素の授業を大切にしたい意欲的に学習に取り組む姿勢を育むとともに、学力の向上および将来の進路希望を実現させるための進路プログラムの充実を図る。</li> <li>2. 横断的な学習を通して、問題発見力や課題解決力、論理的思考力を培う。</li> <li>3. 部活動や学校行事等を通して、個性を尊重し合う心と、さまざまな問題を深く捉えていく態度を育てる。</li> <li>4. 本校の教育活動を生徒、保護者および、受験志願者、地域住民に対し、幅広く広報し、情報提供を行う。</li> </ol>
------	--

\*重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。  
\*番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校関係者	8名
-------	----

学校自己評価							
年度目標			年度評価				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	効果的な授業を展開し、基礎学力の定着および実践力の養成に努めている。 教員個々が自己研鑽をさらに積み重ねると同時に、教員全体研修をより充実させる。 生徒個々の将来設計に繋がるプログラムを設け、さらなる効率化の模索に努める。 ICTを活用した授業を適宜取り入れ授業の向上に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の高揚</li> <li>・基礎学力の定着と実践力の向上</li> <li>・学習指導計画に基づく教科指導力</li> <li>・進路指導、進路プログラムの充実</li> <li>・ICT教育への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業および継続学習の重要性の意識づけ</li> <li>・教科会の定期開催</li> <li>・教員の教科指導力向上</li> <li>・教員研修の実施</li> <li>・学習指導部会の実施</li> <li>・進路指導会議の充実</li> <li>・進路指導プログラム、進路ガイダンスの実施</li> <li>・二者、三者面談の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導の工夫、改善により、生徒の学習意欲を高め基礎学力の定着や実践力が向上したか。</li> <li>・教科会、学年会等の指導体制が効果的に機能していたか。</li> <li>・生徒が将来像を描く機会が提供でき、意欲的に取り組めたか。</li> </ul>	<p>学習指導計画に基づいて、各教科の特性に応じて授業を展開し、基礎学力の定着や実践力を向上させた。また、教科担当と学年団が連携し学力向上に努めた。ICT担当を中心に環境の整備や様々な取り組みが行われた。授業にも取り入れられ成果をあげてきている。進路指導や職業学習を有効的に利用し指導を行った。</p>	B	学力の定着についてはクラスによってばらつきがあり、全生徒の定着に向けてクラスに応じた授業や確認テストなどを改善していく。従来からの授業の質を高めつつ、ICT教育をどのように効果的に授業に取り入れるかを具体的に検討していく必要がある。また、教員の技術の向上が求められる。
2	校内および校外学習等のアクティブ・ラーニングを通してグループ討議、発表等を実施している。 生徒個々の主体性を引き出し、さらなる意識の高揚を図る。 修学旅行や語学研修を通して、国際理解教育を推進している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種プログラムの効果</li> <li>・生徒の意欲的な取り組み状況と成果</li> <li>・校外学習や修学旅行の事前研究や事後の発表等の取り組み状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的かつ魅力的なプログラムの実施</li> <li>・研究活動の充実</li> <li>・生徒の豊かな発想を引き出すための助言指導</li> <li>・校外学習や修学旅行の事前研究や事後の発表等の計画の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力あるプログラムとなっていたか。</li> <li>・生徒が能動的かつ意欲的に取り組んだか。</li> <li>・校外学習や修学旅行のレポート内容が充実したものであったか。</li> </ul>	<p>アクティブ・ラーニングにおいては、グループ討議、発表まで一連の流れが定着し、生徒は意欲的に取り組んでいた。新しいプログラムを試験的に導入し、好評であった。時間の制約がある中で生徒は積極的に取り組んだ。</p>	B	アクティブ・ラーニングに効果的にICTを導入し、研究から発表までより質の高いものにしていく。多面的で対応力のある生徒に成長してもらいたい。ALのグループ討議やプレゼンテーションなどの事前指導と事後指導の時間を確保し、指導を充実させる。内容の質を高めるため、各取り組みを精査し検討する。
3	部活動や学校行事等を通して、豊かな人間形成を図り、心身の健全な育成に努めている。 公共の場でのマナーや他者への思いやり、感謝の気持ちを持つよう、継続的指導を徹底させる。 給食を通して、食に対する正しい知識、姿勢を育てている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への取り組み状況</li> <li>・部活動参加状況</li> <li>・公共マナーの状況</li> <li>・道徳教育の充実</li> <li>・給食指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭、体育祭等の学校行事の充実</li> <li>・部活動への参加奨励</li> <li>・生徒集会等における公共マナーの指導や講話による啓発</li> <li>・「考える道徳」の実践</li> <li>・食育指導の充実による偏食の改善、食に対する意識づけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への取り組みが意欲的であったか。</li> <li>・部活動への参加が積極的であったか。</li> <li>・マナーを意識した節度ある行動がとれたか。</li> <li>・多様な価値観があることを理解し、道徳的価値について考えることができたか。</li> <li>・給食を通して正しい食習慣が身についたか。</li> </ul>	<p>各行事に意欲的に参加する生徒が多く、クラスや学年、学校全体で協働し、意欲的に取り組む姿勢がみられた。部活動に積極的に参加する生徒が増え、県大会や全国大会に出場し成果をあげた。道徳は計画的に取り組み、道徳心を考える授業を実践した。</p>	B	道徳の授業の内容をさらに充実させるため、教員間の連携を深め生徒の実情に合わせて指導をしていく。道徳の授業を公共のマナー向上に効果的に結びつけ、継続的に指導を行う。健全な心身を育むため、栄養バランスが整った食生活を送ることができるように指導していく。
4	HP、説明会を通じての外部発信およびSHIP、メール配信での保護者向けの情報提供を適宜行っている。 募集広報活動により、説明会への動員、志願者の増員に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPおよびSHIPの更新状況とその内容</li> <li>・学校説明会や進学相談等、積極的な募集広報活動状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報の提供と内容の一層の充実</li> <li>・学校説明会、体験学習等の積極的な募集広報活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SHIPの利用状況の増加がみられたか。</li> <li>・学校説明会等の募集行事への動員が図られ、好評価が得られたか。</li> <li>・志願者が増加したか。</li> </ul>	<p>学校説明会を始めとする募集活動は教職員の協力体制により堅調で、志願者数も過去最多となった。HPおよびSHIP等の発信は一定の成果が得られた。</p>	A	より効果的でより迅速な情報発信に向けて改善をしていく。SHIPを普段から活用し、家庭への連絡や教材の提供を行っていく。

学校関係者評価	
書面での回答	
学校関係者からの意見・要望・評価	<p>定期テストを通して学習到達度が良く把握できており、目標を立てることで達成感を得ながら勉強できていると感じる。学校全体、低中間層の学力向上を目指す事が重要である。目標に向かって、生徒、教員そして家庭も一丸となって努力している。ICT教育を取り入れた教育技術の向上は課題であり一層の取り組みを期待します。ICTの充実に0B,0Gとして協力できると思う。</p> <p>効果的なALを実施することで、生徒達が自主性を高め、楽しみながら学習に取り組んでいる姿が素晴らしい。多面的で対応力のある生徒に成長してもらいたい。ALのグループ討議やプレゼンを拝聴したい。文化祭での発表は、生徒達で共有されることで、互いに刺激し合い、意識の向上につながっている。</p> <p>中高合同での行事は、中学生にとって具体的な目標像に触れる最高の機会でも中高一貫を活かした教育になっていると感じる。行事や部活動への参加を通じて他者と触れ合うことで、自身の考えや価値観と異なる者への理解や思いやりの心を育てている。教員が視野を広げ人間力向上により、教科書にない道徳観を生徒に与えて欲しい。</p> <p>在学生に対してSHIPの活用が定着しているのでオンラインのHRも大きな混乱もなく取り組んでいる。全国でも屈指の受験者数を誇る募集広報活動は大きな成果を出している。保護者会、同窓会として募集活動に協力したい。</p>